

県評しずおか

静岡県労働組合評議会

〒420-0851 静岡市葵区黒金町55番地 交通ビル3階
TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973
Eメール kenpyo@cy.tnc.ne.jp

たたかう労働組合のバージョンアップで 職場・地域から声を上げ 平和で公正な社会をつくらう

—静岡県評第76回定期大会開催—



開会のあいさつをする菊池議長

静岡県評は9月16日に第76回定期大会をオンライン併用で開催。2024年度の運動方針などの議案を採択、新体制を確立して「たたかう労働組合のバージョンアップで職場・地域から労働者が声を上げ、平和で公正な社会をつくらう」をスローガンに新たなスタートを切りました。来賓として全労連から稲葉常任幹事、県共闘会議から鈴木代表幹事、日本共産党から須山初美衆議院東海比例候補、労働金庫から松島常務理事から挨拶をいただきました。

開会のあいさつで、菊池仁議長は「相次ぐ物価高騰のなかでも、国民生活を守るどころか軍事費増大を進める岸田政権を厳しく批判。いまだ続くコロナ禍の中でケア労働者の賃金上積みや保育士の配置基準見直しにむけた動き、異常な働き方を強いられたい保健所保健師の増員など、多くの到達を生み出してきた。23春闘時には初めてストを遂行した全医労のほか、いくつもの労組がストでたたかった。前年実績と比較し前進した。物価高騰をカバーする金額にはまったく届いていない。大幅な賃上げ、最低賃金の引き上げを実現するた

めに、要求実現と組織拡大強化を一体に進めよう」と呼びかけました。

上野事務局長が「23年度運動の総括と24年度のたたかひの方針」について提案しました。3つの要求の柱(①賃上げと時短・労働法制改悪阻止②公共を取り戻すこと③軍拡・増税反対、改憲阻止)と4つのアプローチを基調にたたかいていく。組織拡大について、今年度は拡大に転じるよう取り組みを強化していく。手始めとして県評青年部の再建と会計年度任用職員の組織化に重点を置き進めていく。併せて物価高騰から生活を守る大幅な賃上げと底上げと、地域経済の好循環を目指し、最低賃金の引上げと全国一律最低賃金制度の実現を」と報告しました。

◆年金者組合 塚平代議員 「要求運動」では、補聴器助成を、磐田市等5市と長泉町で実施させて来た。引き続き全県に広げていきたい。本来なら健康保険の対象にする運動も必要である。高齢者の足の確保運動では富士市等が前進しているが、これも、全県に広げていきたい。「年金裁判運動」については、静岡地裁及び東京高裁での不当判決を受

け、現在最高裁判所へ上告している。引き続きのご支援をお願いしたい。「仲間づくり運動」では、中々苦戦している。最高時より300名も減少している、増やさなければ無くなってしまう組織の為、頑張つて取り組んでいきたい。

◆ローカルユニオン静岡 河合代議員 組織拡大について労働相談を通じて今年1月から8月の期間で26名が加盟している。相談件数は153件で内ハラスメント関連が64件で42%を占めている。組合拡大はまった無し。課題であり年2回取り組んでいく労働相談ホットラインでハラスメント専用の相談窓口を設けるなど工夫が必要と考える。次回の労研の定例会では「職場でのハラスメントの闘い」について報告するのでは是非参考に聞いてもらいたい。

◆化学一般 竹内代議員 東海大王製紙の春闘ではスト決行に対し激励のFA X等ご支援ありがとうございました。組合員が元気づけられた。結果は昨年割れなかったが春闘後、組合未加盟労働者から「自分たちが未加盟だったから賃上げが

出来なかった」との感想が出され、組織化に動いている。SNSによる情報発信が効果的でストの力となった。今セクハラの問題を取り組んでいる。会社はなかなか認めていない、裁判闘争も考えている。今後もご支援をお願いしたい。

◆静岡自治労連 小泉代議員 職場からハラスメントやメンタル不全の相談が多く寄せられている。昨年「職場環境改善に向けた命と暮らしを守る学習会」を開催。その中で人員の確保が最重要課題である事が見えてきた。今の職場は長時間過密労働で低賃金の職場で人員確保と併せて今いる職員が働き続けられる職場作りが必要。伊東市職労連では人員のため必要予算も確保するということ予算人員闘争を長年続けており、職場アンケートで仕事の実態を出し合いあつた必要かを要求し組合と所属長から人事課に要求をあげ要求前進につながっている。今年的人事院勧告は低すぎるので、23秋季年末闘争で改善を勝ち取る共に会計年度任用職員の処遇改善に取り組み



大会に参加した 代議員のみなさん

◆全教静岡 長澤代議員 現場では教員がおらずプリント学習になるなど授業が成り立たないクラスが発生している。一番の犠牲者は子ども達である。学級崩壊や不登校の子どもが増えている。その第一の原因は、子どもの心に寄り添って教員が不足している事です。教員不足の原因は、教員の働き方がブラックのため。教員の多忙が減らないのは政府・文科省などの政策のため、この間授業時数が増やされたり、全国統一学力テストの結果分析や改善対策の立案など多忙もたつて書類作りに追われたりしている。働き方改革で子どもと関わる行事が減らされている。子どもと関わる時間が減らされる事で若い教師が魅力を感じられず早期に辞職したり、精神疾患にかかるなどしている。こうした環境改善のために教育署名に協力いただきたい。

◆福保労 久保田代議員 ケア労働者の大幅賃上げプロジェクトでは、多くのメディアに取り上げられ福祉職・保育職の賃金の低さや70年以上も変わらない配置基準の問題がアピール

「戦争する国」にさせないために

「戦争する国」くり返すストンブ！憲法を守り、いかに静岡県憲法共同センター」と「軍事費を削つてくらしと福祉・教育の充実」を求め福民大運動静岡県実行委員会は9月29日、静岡市葵区で大軍拡・大増税NO!の世論の声を広げようとして第2回目の連続講座を行い、27人が参加しました。

第2回連続講座では、三上智恵監督が、九州南部から沖縄全域に連なる南西諸島の軍事要塞化の実態を告発したドキュメンタリー映画「沖縄 再び戦場(いくさば)〜仮題」スピノフ作品の上映会をし、感想交流を行いました。

林克・県憲法共同センター代表は、沖縄で攻撃用の長距離ミサイルの格納庫などは大軍拡が進められることなど本土の問題にもなる指摘。この会を通して問題意識を共有したいと訴えました。

両団体は、大軍拡、大増税に反対する請願署名をさらに推進し、国民生活破壊にストップをかけようと署名に合せて連続講座を行っています。



議案の採択をする 代議員のみなさん

◆全教静岡 長澤代議員 現場では教員がおらずプリント学習になるなど授業が成り立たないクラスが発生している。一番の犠牲者は子ども達である。学級崩壊や不登校の子どもが増えている。その第一の原因は、子どもの心に寄り添って教員が不足している事です。教員不足の原因は、教員の働き方がブラックのため。教員の多忙が減らないのは政府・文科省などの政策のため、この間授業時数が増やされたり、全国統一学力テストの結果分析や改善対策の立案など多忙もたつて書類作りに追われたりしている。働き方改革で子どもと関わる行事が減らされている。子どもと関わる時間が減らされる事で若い教師が魅力を感じられず早期に辞職したり、精神疾患にかかるなどしている。こうした環境改善のために教育署名に協力いただきたい。

◆福保労 久保田代議員 ケア労働者の大幅賃上げプロジェクトでは、多くのメディアに取り上げられ福祉職・保育職の賃金の低さや70年以上も変わらない配置基準の問題がアピール

「戦争する国」にさせないために

「戦争する国」くり返すストンブ！憲法を守り、いかに静岡県憲法共同センター」と「軍事費を削つてくらしと福祉・教育の充実」を求め福民大運動静岡県実行委員会は9月29日、静岡市葵区で大軍拡・大増税NO!の世論の声を広げようとして第2回目の連続講座を行い、27人が参加しました。

第2回連続講座では、三上智恵監督が、九州南部から沖縄全域に連なる南西諸島の軍事要塞化の実態を告発したドキュメンタリー映画「沖縄 再び戦場(いくさば)〜仮題」スピノフ作品の上映会をし、感想交流を行いました。

林克・県憲法共同センター代表は、沖縄で攻撃用の長距離ミサイルの格納庫などは大軍拡が進められることなど本土の問題にもなる指摘。この会を通して問題意識を共有したいと訴えました。

両団体は、大軍拡、大増税に反対する請願署名をさらに推進し、国民生活破壊にストップをかけようと署名に合せて連続講座を行っています。

2面に続く

地域や職種を超えた交流で元気にサマセミ

9月16日から18日まで愛知県大山市で「全労連東海北陸ブロック青年交流会サマセミセミナー」が実施された。4年ぶりの対面開催となり、8県から67名の参加と大盛況になりました。特に初めての参加者20代、30代の参加者が目立ちました。静岡県からは5つの組合から18名が参加しました。残念ながら2名は体調不良になり当日の参加はできませんでしたが、20名を集めるという当初の目標は達成することができました。

1日目は、参加者の交流を深めるためのレクリエーションを行いました。班ごとに別れて自己紹介を済ませたあとは、他の班の方と自己紹介ゲームを行い多くの参加者と顔合わせを行いました。また今回は30回目的のサマセミということでサマセミのロゴを作成し、そのロゴを使ったエコバッグと缶バッジを作りました。みんな初対面とは思えない

ほど、楽しそうにお互い協力しながらオリジナルのバッグと缶バッジを作成していただきました。2日目は、班ごとに違うコースを巡りました。明治村へ行く班、リトルワールドに行く班、わくわく講座でAIについて学んだと犬山城と城下町を散策する班と、各々希望するコースに行きましたが、ラインの機能を使用して写真を交換し



あうことで交流を続けながらの分科会になりました。中には面白い写真を投稿する人もおり、違うコースであっても同じイベントに参加しているようでした。

3日目は、静岡県が担当する全体会でした。前半は1班5〜6名に別れて互えられた時事のテーマを調べ、後半は班を編成し話し合いが調べたことを説明し議論しあうという内容でした。勉強会という色が強い全体

会でありましたが、参加者同士自分の意見を言い合い、今回のサマセミのテーマであったワンダフルに語り合おうを体現できた全体会になりました。全体を通して多くの方が楽しかった、色々な職業や年代の人と話ができ良かった、今まで話をする機会がなかったという人たちがたくさん見られました。仲良くないけれど、仲良くなれたという感想が聞かれました。コロナ禍ではなかった対面によるコミュニケーションの楽しさを再確認しているようでした。笑い声の絶えないサマセミでした。

核廃絶願ひ「焼津のつどい」開催

1954年3月1日にアメリカが南太平洋ビキニ環礁で行った水爆実験による被ばくで亡くなった第1五福竜丸無縁長の久保山愛吉さんの69年目の命日にあたる9月23日、焼津駅から弘徳院までの墓参行進と墓前の誓いのつどい、焼津市文化センターで焼津のつどいが開催されました。2023年1月に核兵器禁止条約が発効されたことが日本政府は、条約を批准していません。静岡県議会で日本政府に対し核兵器禁止条約締結国会議へのオブザーバー参加を求める意見書が採択される中での開催となりました。



静岡県労働研究所
河合氏
9月21日「職場でのハラスメント」との問いと題して、河合利夫氏（ローカルユニオン静岡委員長）が報告しました。
ローカルユニオン静岡にパワハラ相談は多数寄せられていますが、殆どはケースで納得のいく解決ができていません。

解決金が出て和解できたケースでも、職場には残れません。労働者がパワハラを実証できなければ、和解はできずに泣き寝入りです。
会社がパワハラを認めない場合の闘い方について、最近取り組んでいるのが、労働安全衛生法69条に基づいての交渉です。職場内で発生した精神疾患の原因がハラスメント行為であると明らかにできなくても、職場内で発生した精神疾患の安全配慮義務違反を追求する闘い方です。
昨年、御前崎市にあるN工業の従業員から、ハラスメントをどうにかできないかという相談がありました。その闘いを通して組合員が最も重要で、

【参加者の感想】
化学一般 男性
初めてサマセミに参加させてもらって色々な方と楽しく交流ができ、仲良くなりました。とても良い経験になりました。班に分かれて一つのお題について話し合うことで、自分の考え以外の意見を知ることができると勉強になりました。静岡県労連 女性
今回初めて参加しましたが、県や職種を超えて普段関わることができない方たちと、直接会って生の声を聞くことができてとても勉強になりました。来年も是非対面での開催をしてほしいです。

【1面からの続き発言】
出来た。森町で今年開園された保育園で3名の仲間が増えた。皆さんの保育園が行われていた中で子どもの人権を尊重した保育がしたい、長く働きたいと願って組合加盟したが、会社は団体交渉で2名について突然の解雇通知を行ってきた。交渉の後地帯とも協議した裁判で闘う事を決意した。今後の裁判闘争にご支援ご協力をお願いします。
◆ユーゴープ労組
湯澤代議員
パ臨連は従来最賃引き上げや非正規運動を進めてきたが今回最賃引き上げ運動ではプロジェクトチームを結成し県評全体で推進して取り組みの輪が広がりました。

各団体の取り組みが報告されました。
女性部は9月30日、オンラインを併用し34名の参加で定期大会を開催しました。久しぶりに復活した文行事で執行部は「保育士は手親の心」としてのミニ劇を行いました。笑えない待遇の悪化や労働の労働条件の改善をめざします。
最初に県評事務局局長山野さんが静岡県の経済のジェンダーギャップは全国最下位であることを紹介し、静岡県の課題として「ニチュエン」を挙げて「ニチュエン」に取り組むこととした。討議では、賃上げプロジェクトで厚労省交渉だけでなくマスコミでも訴えることが

段と広がった。
◆西部地区労連
西部地区労連は組織強化・拡大を中心に据え、加盟労組とのつながりを深めるため、組合の執行委員会を訪問し組合の状況を聴いたり、学習会やイベントの紹介をしている。レク活動では、ボウリング大会、ウォーキング大会、ウオーキング＆みかん狩り、軟式野球大会、ギター教室等を行っている。
浜松市長選では県評からご支援を頂き、みんなの会代表の嶋田博氏は投票数の2割、6万票を獲得することができた。7月にみんなの会は、給食無償化、家庭ごみの有料化、家庭ごみ15項目の要請書を提出し、副市長と

女性部活動ができる単組がひとつになったがニュースを通して活動を広げていきたい自治労連など発言内容が濃く労働組合が動いていることが伝わる議論になりました。女性部アンケートでは、育児休業、人員確保、労働時間短縮が圧力的な要求です。11月2日の対面交渉では大会発言を含めアンケート結果を発言したいと思えます。アンケートは引き続き受付です。

懇談し。これからも住みやすい浜松市を目指して地域の仲間と頑張りたい。
◆通信労組 田中代議員
政府自民党は、軍事費増額にむけた財源確保のため、NTTの政府保有株34.25%の完全売却と、NTTの完全民営化を視野にいれている。もともと、NTTの通信設備や資産は、電々公社以来、国民利用者が「電信電話債権」を負担するなどの構築されてきたもので、いわば「国民の共有財産」である。通信労組は、国民世論を拡げて、NTT政府株完全売却とNTT法廃止の検討を中止させるまでた

はたらくみんなの元気の出る集会
日時：2023年11月12日（日）
13：30～15：45
会場：静岡労政会館3F
「ロッキーマウンテン大会議室」
講師：東海大学教職員組合
執行委員長 佐々木信吾氏